

令和5年度 第7回市長タウンミーティング概要

と き：令和5年4月23日（日）
午後2時30分～4時
ところ：中央公民館
参加者：91人

○市長あいさつ

（市長より、令和5年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問(市民)

駅前再開発について、ビルの中にいろいろなテナントが入ると思うのですが、多くの方が蕨に来るような魅力的なテナントをお願いしたいです。さらに、再開発の施設だけでなく、駅前商店街や旧中山道にも魅力的な店舗を入れて、人を呼び込めるような取り組みをお願いします。

また、西口は再開発できれいになりますが、東口は狭くて雑然としている感じがします。場所の問題など大変だとは思いますが、広い駅前広場などがあると良いと思うので、計画を考えていただきたいです。

回答(市長)

駅前再開発のにぎわいを商店街や中山道などに呼び込んでいくことが大切とのご意見、私もその通りだと思います。再開発は、権利者の皆さんがつくる組合の施行で実施するため、現時点で市から具体的な店舗についてお話はできませんが、市民のかただけでなく、市外からも来ていただけるような魅力的なお店を整備していきたいという共通の思いを持って、準備を進めています。また、再開発に合わせて、駅前通りは中央第一地区のまちづくりとして道路の拡幅整備を進めています。整備の際は、商店街のみなさんとも意見を出し合い、全体としてにぎわいのある空間にしたいと考えています。さらに、中山道のにぎわい交流拠点の整備を進め、回遊性のあるまちづくりを目指していきます。

東口についてですが、再開発に必要な空き地面積が少なく、大きなビルが建っていて、実施は難しいというのが現状です。JRと協議しながら、できる範囲で不便な部分は改善できるよう努めていきます。

質問(市民)

長年、高齢者の補聴器問題を要望してきました。期待しておりますので、ぜひ高齢者への補聴器購入費の補助の実現をお願いします。

回答(市長)

高齢になると、難聴になるかたも増えてきますが、一人ひとりに合った補聴器を作ろうとすると、とても高額になります。耳が聞こえづらいと、外出して人と会うのを控えるようになり、自宅に閉じこもりがちになるという話も聞いています。健康で幸せに暮らすには、外出して人と触れ合うことが大切ですし、難聴は認知症発症のリスクにも影響があると言われておりますので、市独自の補助について、ぜひ考えていきたいと思っております。

質問(市民)

膝が痛いなど足が悪い人もいますので、公園のトイレを洋式化していただけないでしょうか。

また、コミュニティバスぷらっとわらびの75歳以上の無料化について、所得制限はありますでしょうか。

回答(市長)

トイレの洋式化については、現在、学校トイレの改修を加速化していますが、今の時代、公園のトイレも必要になってくると感じています。これまでは予算の面など課題があり、着手できていないというのが現状ですが、高齢者の皆さんの健康、外出しやすいまちづくりにも、トイレの洋式化ができればそれに越したことはないので、状況を調べ、必要に応じて検討していきたいと思っております。

ぷらっとわらびの75歳以上の無料化については、所得制限はありませんので、大いに活用していただき、外出を通じて健康になっていただきたいと思っております。

質問(市民)

先日、NHKの番組で岸田首相が岡山県奈義町を視察する様子を見ました。内容は蕨市がやっていることと同じ感じでしたので、ぜひ蕨市にも岸田首相が視察に訪れてくれるとよいなと思っております。

回答(市長)

岸田首相に会う機会はなかなかないのですが、私は現在、埼玉県市長会の副会長、全国市長会の役員を務めていますので、今後もいろいろな場面や機会を通じて、蕨市の良さを発信し、PRしていきたいと思います。

質問(市民)

外国人を最近見かけることも多くなり、国の方針からしても今後も多く入ってくると予想されますが、現在、蕨市には外国人はどのくらいいるのでしょうか。また、今後増えてきたとき、どのような施策を考えているのでしょうか。

回答(市長)

蕨市では、人口の約10%が外国籍の方となっています。お話のとおり、国の方針からしても、生活に便利な都内や県南などは、今後も増えると思います。蕨市では、お互いが理解し、協力し合える住みよいまちを目指して、昨年、多文化共生指針を作り、いろいろな施策を進めています。例えば、日本語が難しい外国籍の子どもを対象とした日本語特別支援教育の実施や市役所の窓口については、自動翻訳機の導入に加え、新年度は、新庁舎開庁に合わせて、総合相談窓口を設置し、英語と中国語が話せるかたを配置して対応していく予定です。ほかにも、みんなの広場というイベントの開催や防災面での対応、まちの活性化など、みんなで協力しあうまちを目指して、取り組みを進めています。

質問(市民)

路上喫煙について、東口・西口喫煙所の撤去は完了していますが、西口の線路沿いにたばこの吸い殻がとても多いです。新宿区や中央区のように条例で罰則規定はないのでしょうか。

また、商店街の一方通行部分について、バイクが通れるようになっていて、危険を感じます。事故が起きる前に対応をお願いします。

回答(市長)

路上喫煙については、蕨駅周辺は禁止区域とし、市でも様々な取り組みを行っていますが、苦勞しているのが現状です。条例で罰則規定は設けておりませんが、罰金を取るには実施体制等に費用がかかるなど課題があるため、今のところバランスを考えて実施に至っていません。路上喫煙やポイ捨てについて、状況が改善しない場合は、更に対策を考えていきたいと思います。

商店街の通行規制については、蕨警察署が所管となるとともに、お話のような規制は、商店街のかたがたの意向もあり、合意形成が必要だと思います。今回のタウンミーティングでこのような意見が出たということは、商店街のかたがたに伝えさせていただこうと思います。

質問(市民)

現在、駅前通りの商店街には高齢の店主が多く、若い人がなかなか入りづらい営業形態となっているように感じます。商工観光課や商工会議所から経営のアドバイスをしてはいかがでしょうか。

回答(市長)

営業形態については、店主が決めることですが、若い人も入りやすい店舗にすることは大切だと思います。市では、新年度から魅力ある店舗づくり支援事業として、上限30万円で補助対象経費の3分の2まで補助するリニューアル助成制度を創設しました。その際、補助をするだけでなく、商工会議所による相談、専門家によるアドバイスなどを行います。また、事業継承支援として、閉めようとする店舗があり、同様の分野の店をやりたいという人がいるときに、空き店舗にはせずに引き継いで、かつ新しいアイデアを取り入れ、活性化させていくという仕組みも考えています。

質問(市民)

市役所、そしてこれから病院が建て替えとなり、きれいになるのを嬉しく思います。次は、蕨市に公立美術館をつくることを検討していただけないでしょうか。

回答(市長)

蕨市には公立の美術館はなく、市展も公民館やくるるで実施してきました。蕨市には、幕末から明治にかけて活躍した世界的に非常に有名な絵師・河鍋暁斎の記念美術館があったり、蕨市の文化協会、美術連盟の会長でもあり、その作品が国内外で高く評価されている洋画家・智内兄助さんがいたり、素晴らしい文化・芸術があるので、みなさんの作品も含めて、見ることができる美術館があったら素敵だなと思います。例えば、移転後の図書館の建物を、文化芸術の拠点として活用していくことも私の夢として考えています。なお、新庁舎には絵を展示するコーナーを設けていますので、楽しみにしていただければと思います。

質問(市民)

公民館の予約方法について、利用者の賛否はあると思いますが、ネット予約についての市としての考えを教えてください。

回答(市長)

スポーツ施設の予約についてはすでに導入しているので、技術的にはできるのですが、これまで公民館の予約について、希望が落ち合った場合でも、団体同士が調整してうまくやってきたという経緯があります。そのため、ネット予約で現在の仕組みもうまく取り入れられるかが課題となっています。時代の流れとしては、ネット予約が必要になっていることは承知していますので、より良い方法を今後も検討していきます。

質問(市民)

市長は就任以来、良い施策をたくさんしていますが、これは市長だけのアイデアなのでしょうか。職員のかたのアイデアもあるのでしょうか。

回答(市長)

施策の実施については、決断するのは私ですが、職員の皆さんに頑張ってもらい、皆で考えています。前例のない取り組みでは、例えば、特別養護老人ホームの誘致策ですが、私が発案して実施に至ったものもあります。ただ、「必要は発明の母」というように、本日のようにみなさんからの声をいただくことが重要で、一番の原動力になっています。すぐにできなくても、必ず心のどこかに思いはあり、実現の力になっていますので、今後も貴重なご意見をお聞かせいただければと思います。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。